

もくじ

1 目次

2 特集

9月1日は「防災の日」  
いざという時の備えは万全ですか

7 クローズアップ

「自分らしく輝ける場所として」  
加古川商工会議所女性会  
会長 吉野 三枝 さん

8 会議所のうごき

「いびきを甘くみてはいけません  
～時事文化講演会を共催～」 他

12 団体だより

女性会・異業種交流会・青年部

15 会議所からのお知らせ

印刷物入札 他

17 エッセイ

「新しい日々を送る」  
協永電機(株) 代表取締役 長永 光記 さん

18 所報サービス

トレンド通信  
「高まる防災関連ニーズにヒットのヒントあり」

19 インフォメーション

関係機関からのお知らせ

20 会議所カレンダー

「今月の“こんな日”」

ご覧ください加古川商工会議所のホームページ <https://kakogawa-cci.or.jp/>



今月の表紙  
『(株)美広社』

事業所データ

◆代表者

代表取締役 なかう まさかつ  
中右 政勝

◆所在地

加古川市加古川町中津895-1

◆電話

079-424-3949

◆ホームページ

<http://bikousha.jp>

◆表紙写真

- ①オリジナル看板の製作はお任せください! (前列右から3人目が中右社長)
- ②加古川駅前のアート階段は、市内のみどころを転写したシートを2日ばかりで設置。
- ③将棋の大盤解説ボード。駒は重さなど試行錯誤して出来上がった傑作。(モデルは井上慶太9段)
- ④変形看板の製作もお任せ! (写真は定期点検の様子。安産の神様も定期点検は欠かせません)
- ⑤イベントの盛り上がりにも華を添えます

手書きの温かみと最新技術が融合した看板づくり

1963年(昭和38)に、映画館の手書き看板職人として腕を磨いた先代が独立・開業した(株)美広社。店舗看板をはじめ、商店街のバナーやイベントののぼりなど、集客アップのための目印として、また街を形成する風景の一つとして目にしたことがあるはずです。「最近ではコンピュータを取り入れたことにより、製作スピードが格段に上がりました。また、手書きでは出せない精巧な図柄など、お客様の要望にも応えやすくなりましたね」と話すのは二代目の中右政勝社長。サラリーマンだった中右社長ですが、看板業を継ぐと一念発起、「技術は盗むもの」の父のもと、腕を磨き、現在は県立ものづくり大学で講師としてレタリングの実演も行っています。また、全国技能グランプリのペイント部門で優勝した職人や、コンクールで数々の優勝を修めているデザイン専門の女性スタッフを含む8名の従業員とともに、ステンレスにLEDを組み込んだものなど、あらゆる素材、大小様々な看板を製作しています。

中右社長は時代の流れを汲みコンピュータを取り入れることによるメリットを感じながらも、手書きでしか出せない味わい深さが必要な看板もあると言います。「お客様に満足いただける看板を作るためには、コンピュータと手書きをうまく融合させる必要があります。そのためには、数少ない手書き職人の技術継承も必須です」と、後継者育成にも力を入れています。

「昔は目立てば良かった看板も、今は、商業地・景観地区・住宅地など周りの環境に応じた看板を作らなければいけません。これからはデジタルサイネージを使った動く看板も増えていくでしょう。お客様の希望を最大限に活かした看板を作るのは私たちのデザイン力と技術にかかっています。『あの看板良かったよ』と言われた時には本当に嬉しい。伝統と最新技術の両輪で、いかに特徴ある仕事をやっていくのが大切ですよ」と時代に合わせた看板づくりを目指しています。

「看板づくりは時代の変化にあわせて常に勉強をしなければならぬ仕事だと思えます。そこに終わりはありません。看板は地域ごとの文化を醸し出します。お客様の商売の一助となるための看板づくりではなく、街づくりの一旦も担っているという責任を胸に、今後も精進を続けてまいります。中右さん達の技術と熱意のこもった看板が街を彩っています。改めて看板の前で足を止めて眺めてみませんか?」